



7月28日の熊本地震で、薩摩川内市は震度5強、川内原発の地表面では最大116.5ガルを観測しました。余震が続くなか、九州電力は1、2号機の運転を続けています。

10年前の2016年熊本地震では、川内原発の岩盤上で観測された揺れは8・6ガルでした。九州電力は当時「十分に小さい」として運転を継続しました。今回は観測場所が異なるため単純比較はできませんが、地表面で116.5ガルを記録し、薩摩川内市でも震度5強となりました。前回以上に慎重な対応が求められます。

川内原発は運転開始から40年前後が経過した老朽原発です。さらに地震の1週間前には、1号機で主蒸気圧力計が正しい値を示さず、保安規定上の「運転上

の制限からの逸脱」と判断される不具合も起きました。地震直後には携帯電話も数時間つながりにくくなりました。原発事故と地震が重なれば、

避難指示や安否確認ができないおそれがあります。10年前の経験からも、大地震後にさらに大きな地震が起きる可能性を軽視できません。余

震が収まり、老朽設備の詳しい点検が終わるまで、川内原発を予防的に停止すべきです。（写真は九州電力川内原

## 10年前を上回る揺れ 老朽化した川内原発は停止を

人的被害は、生後2か月の女児がテレビの画面にぶつかり軽傷を負った1件が確認されました。一方、市内では道路の盛り上がりや土砂崩れ、落石などが

相次ぎ、市道や国道3号、南九州回り自動車道の一部で通行止めや交通規制が実施されました。また、可愛小学校、隈之城小学校、平佐東

小学校、川内北中学校、川内南中学校など多くの学校で、天井や外壁の損傷、窓ガラスの破損、配管のずれなどの被害が発生しました。市役所本庁舎や総合

体育館、入来総合運動場など公共施設にも損傷が確認され、一部施設では利用制限が行われています。この影響で、青空サマーキャンプや川内南エリア・コミュニティ

大きな水路への転落防止をガードレールでなく、道路利用に支障のない安全対策を

「新築した家の前に深い水路がある」として、道路幅が狭く、ガードレールを設置す

り、転落が心配。蓋板を設置してほしい」と、市民から相談が寄せられました。現場は農道中塚1号線沿いで、道路面から水路底まで約1メートルあります。市も転落事故の危険性を認めています。維持管理に支障がある」として、蓋板の設置は困難とし、ガードレールを検討しています。しかし相談者は、「道路幅が狭く、ガードレールを設置す

## 熊本地震

### 薩摩川内市でも公共施設や学校に被害

#### 余震続く中、安全確保と原発への不安広がる

7月28日に発生した熊本地震では、薩摩川内市でも震度5強を観測しました。市は直ちに災害対策本部を設置し、29日午後3時現在も対応を継続しています。

こちららの相談所  
(No. 659)  
携帯 080-3996-0237 (井上)  
なんでもご相談ください。

と車の方向転換や駐車が難しくなる」と訴えています。井上勝博市議は、蓋板が維持管理にどのような支障を及ぼすのか具体的な説明を求めるとともに、取り外し可能な蓋板やグレーチング、危険箇所だけの設置などを検討するよう要請。道路境界や車両通行への影響も現地で調査し、道路利用に支障のない安全対策を講じるよう求めています。

施設の耐震化や防災体制の強化はもちろん、原発を含めた総合的な安全対策をあらためて見直すことが求められています。

九州電力 川内原発

# 原発の「目」となる計器が故障

原因不明のまま運転継続

本当に大丈夫か

川内原発1号機で、7月20日、主蒸気系統の圧力を監視する計器の一つが異常を起し、九州電力は保安規定に基づく「運転上の制限からの逸脱」と判断しました。これは、安全上重要な監視機能に異常が発生したことを意味します。(前号の民報きずな1167号)

豪 其後の報道では、原因は圧力計ではなく、信号を処理する制御盤内の部品の不具合とされ、部品交換で復旧したとしています。

しかし、市が九州電力に確認したところ、故障した部品は現在もメーカーで原因調査中で、経年劣化との関係も分かっていません。さらに、同じ型式の部品は原発内のほかの場所にも使われていますが、「異常が出ていない」として点検や交換は行わず、再発防止策も未定という回答でした。

今回は残る3つの計器が正常だったため重大事故には至りませ

## エプロンおばさんの簡単フッキング (713)



わかめの香りサラダ

【材料 (2～3人分)】

乾燥ワカメ:10～15g、キュウリ:1/2本、ミョウガ:1～2個、大葉:3～4枚、ショウガ:5g、レタス:2～3枚 (調味料) ポン酢:適量、レモン汁:少々、こしょう:少々、オリーブ油:大さじ2

作り方

ワカメは水で戻す。キュウリとミョウガは細切り、大葉とレタスはちぎって水にさらし水気を切る。ショウガは千切りにし、すべての材料をボウルに入れて、調味料で和える。

# データセンターの問題点と解決の方向

データセンター問題の学習講演会を開きます。

入来町でも計画されているデータセンター。便利さの一方で、電力消費、排熱、騒音、防災、地域環境への影響など、住民に関わる大事な問題があります。

講師の鈴木剛さんを迎え、「問題点と解決の方向」をわかりやすく学びます。ぜひご参加ください。



鈴木剛さん

日時 8月9日 (日) 16時～

会場 入来文化ホール別館

入来町副田6043

講師 鈴木剛さん

日本共産党 原発・気候変動・エネルギー問題対策委員会

問合せ 080-3996-0237 (井上)

主催 データセンターを考える会



んでした。しかし、安全を支える多重化設備の一つが約9時間半にわたり正常に機能しなかったことは、決して軽視できません。

運転開始から40年を超えた川内原発1号機では、原因が判明する前に「運転再開ありき」で済ませるのではなく、同型部品の総点

検や老朽化との関係を含めた徹底した原因究明こそ求められています。住民の安心につながる説明責任を果たすべきです。



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生のつれづれなるままに (889)



昼前、ぼーっとしていると電話が鳴った。「もしもし、中俣勝義さんですか」「はい」「ご本人さまですか」「はい」「実は」で切り出された内容は、5月に新聞に載った詩の「妹背たかしさん」とお話をしたいので、電話番号を教えてくださいと問い合わせがあったのですが、聞いてもいいですか、というものでした。相手が南日本新聞社だし、詩が載ったのも事実だし、これは詐欺ではないと思ったので、「はい、いいですよ」と返事した。そこで電話を切って数分も経たないうちにまた電話。出ると、先の方みたいで、「妹背たかしさんですか」と聞いた上であれ、(私は7人の×(聞き取れず不明)の集まりをしているもので、妹背さんにおいでいただいてお話をしてもいいいのですか」と話された。ウーイモガラのご利益のせいだぞ、それにしても早すぎる。「いいですが、電話では私耳が悪いので、内容についてお手紙でもくださればありがたいので、すが」というところで受話器を置いた。中俣はともかく「妹背たかし」で名前が売れるのも考え物だと、あれほど「妹背たかし」を売り込んでいたのに、ここにきて迷惑な話だと思った。これを書いているときまでにはまだ手紙は届いていない。手紙を読んで内容を確認、ぼくにできるかどうかを判断したいと思ってい

つと、最近舌の回りも悪いな。それにして二つの名前を持つことだった。(詩愛好家)